

未来を創る



謹賀新年



全日本自治団体労働組合
中央執行委員長

石上 千博

「持続可能な社会の核」=公共サービスを守る

明けましておめでとうございます。

昨年も、全国各地で自然災害が頻発し、現場では職員の皆さんが懸命に対応されていますが、慢性的な人員不足の実態は変わっていません。2026 春闘においても、自治労は「人員確保」の取り組みを最重点課題として進めていきます。

人材の確保と、職員がモチベーションをもって働き続けるための処遇改善が、喫緊の課題です。2026 春闘では、物価上昇を上回る持続的な賃上げの実現にむけて、労働組合が一丸となって交渉を展開することが重要です。自治労は公務員賃金の更なる引き上げにむけ、民間春闘から人事院勧告、秋の賃金確定期につながる「賃上げサイクル」を意識し、積極的に春闘期の取り組みを展開します。仲間の声を、思いを力の源泉にすべての単組で精力的な交渉をすすめ、1つでも多くの改善を勝ち取る。それを組合の結集力へとつなげる。そうした決意を全体で固め合い、1年のたたかいのスタートである春闘に取り組んでいきましょう。

人口減少、少子・高齢化の進行が予測される中で、社会保障や税のあり方などが大きな課題となっています。重要なのは、誰もが安心して暮らし働き続けられる持続可能な社会をどのように創るかであり、その核となるのが公共サービスです。国会では、地方税財源・公共サービスに大きく影響しかねない政策議論も想定されることから、政治の場への意見反映を強めていきます。

自維政権は、改憲議論の加速や安保関連3文書の早期改定を打ち出すなど、右傾化を鮮明にしています。平和で基本的人権が守られることは、自治労がめざす誰もが安心して働き続けられる社会の基礎です。自治労は平和と民主主義を守る立場で、引き続き声を上げ続けていきます。

「未来を創る、仲間とともに」をスローガンに、公共サービス労働者の賃金・労働条件の改善はもとより、平和と民主主義、そして地方自治・公共サービスを守り発展させるため、これからも70万人の仲間の先頭に立って邁進する決意です。組合員の皆さん、ともにがんばりましょう。

心ほぐれる 馬との時間



馬といえば競走馬を思い浮かべる人も少なくないだろう。だが、かつて馬は、農耕、輸送など人の生活と密接に関わる動物だった。優れた知能・体力だけでなく、馬には人を癒す力もあるらしい。茨城県阿見町のホースセラピーフィールド「ヒポトピア」を訪ねた。

ホースセラピーとは、馬との触れ合いを通してリハビリテーションやセラピーのこと。イギリスでQOL（生活の質）の向上を目的に行われるようになり、ドイツでは、リハビリなどの医療行為として行われている。馬と触れ合うことによって身体的、精神的な癒し効果が得られるとともに、一人ではできない馬の世話を他者とともに行うことを通じて、社会性を育む効果もある。

馬の持つ寄り添い力が ホースセラピーの魅力

アニマルセラピーというとドックセラピーがよく知られているが、犬と馬では人への近づき方に大きな違いがある。馬は他者との距離の取り方が上手で、社会性の作り方が人間とよく似ているという。そのため、コミュニケーションが苦手な人でも自分のペースやタイミングで馬に近

づくことができる。

また、馬は大きな体で力もとても強いが人の小さな指示にも応えてくれる優しさや寄り添い力を持つ。障害の有無にかかわらず、その人に合った関わり方ができる点が特徴と言える。

馬との触れ合いが導く 成長の喜び

自治体から委託を受けた児童発達支援・放課後等デイサービス事業所でもあるヒポトピアでは、障害児支援プログラムも提供している。

ヒポトピアには馬術競技を引退した馬やサラブレッド、ポニーなどさまざまな品種の馬がいる。品種によって、体格や騎乗した時の揺れ方が違うため、利用者に合わせた馬を選べるようにしている。

また、利用者がどんな乗り方をしても馬が驚かないよう、乗馬インス

トラクターなどのチームで、入念に馬を訓練している。

子どもたちは、騎乗してフィールドに置かれたカラーコーンの色を覚えたり、自分の意志で左右に馬を動かす感覚を身に付けたり、それぞれの目的に合わせたレッスンを行う。それまでできなかったことでも、馬という存在を介することで、楽しみながらできることを増やしていく。目標を達成すると、本人はもちろん、家族の喜びもとても大きい。

車椅子から馬に乗り換え、楽しそうに手綱を引く子の姿に、馬の持つ大きな包容力と癒しの力を感じた。



馬の餌の用意や掃除など、皆で協力して厩舎活動も行う



私、八巻がヒポトピアで乗馬体験をさせていただきました。動物好きの私ですが、馬に乗るのは初めてで少し緊張しました。

今回乗せてくれたむぎちゃんとはそこまで大きく見えませんでした。いざ乗ってみると、体格がしっかりしていて、またがるのがなかなか大変。自分の体の硬さを痛感しました。背中に乗ると馬の体温が伝わってきて、その温かさが心地良いです。



はじめはゆっくり歩いてもらい、少し慣れてくると左右に手綱を引いて指示を出し、置いてあるコーンをターンしながら進む練習です。本当に少しの力で指示するだけで大きな体の向きを変えてくれる優しいむぎちゃんです。最後は少し早歩きをしてもらいました。大きく揺れるこの歩きは「常歩」と呼ばれ、細かい8の字を描いており、その動きが体幹の向上につながるそうです。

騎乗は10分ほどでしたが、降りると足や背中の普段

はじめはゆっくり歩いてもらい、少し慣れてくると左右に手綱を引いて指示を出し、置いてあるコーンをターンしながら進む練習です。本当に少しの力で指示するだけで大きな体の向きを変えてくれる優しいむぎちゃんです。最後は少し早歩きをもらいました。大きく揺れるこの歩き



あまり使わない筋肉を使っていた感覚がありました。馬の上で姿勢を保つのは本当に大変で、体幹を使う全身運動だと実感しました。実は体験後、数日間筋肉痛が続きました。普段運動をしない方にも乗馬は本当におすすめです。そして、ヒポトピアの馬たちはとても穏やかな目



をしていて、子どもから大人まで、どんな人でも受け入れてくれます。

午年の2026年、ぜひホースセラピーで癒されてみませんか？



ヒポトピアのご紹介

ヒポトピアは2018年に設立。ホースセラピーを提供する乗馬クラブ「ヒポクリニック」と、児童発達支援・放課後デイサービス事業所「プレスト」で構成されている。また、ホースセラピーインストラクター育成の研修や、馬から出た堆肥を使った野菜作りなどの活動も行っている。敷地内にインクルーシブ公園も併設しており、さまざまな目的に利用できる場として提供している。



ホースセラピーを通じて子どもたちの成長期と一緒に過ごせることが嬉しいです。誰にでも心の癒しは必要です。大人も子どもも気軽に馬と触れ合える場所にしていきたいです。

ヒポトピア 代表理事
鈴木 弓子 さん



サポーター会員募集中！

おせちにまつわる et cetera

エトセトラ

全国各地から専従役員が集う自治労本部。きっと多彩なおせちの品目のことが聞けるに違いない。そう思って取材を始めるや、期待は裏切られた。



重箱の中の「おせち」は画一的？ “相方”の雑煮は地方色豊か

「だてまき、昆布巻、かまぼこ、栗きんとん、数の子、田作り、紅白なます。そんな感じ」と誰もが言う。重箱の中の「おせち」は意外と標準化されているようだ。

地方色を感じさせるものとしては、富山ならこぶ締め、大分南部は「クジャク」というゆで卵を魚のすり身で包んで揚げたものが加わるという。地方色は控え目のようだ。

他方、「お雑煮」は地方色豊かだ。新潟の「のっぺい汁」は、大根、人参、蓮根、里芋など根菜類、鶏肉または鮭、こんにゃく、干し椎茸など具だくさん。山形の庄内地方は、もち、こんにゃく、ネギ、芋がら、岩海苔が入り、質朴な風情が漂う。長崎は、アゴ（トビウオ）出汁でブリや鯛が入る豪華版だ。

興味意味深いのは三重県。一般に東日本は角餅、西日本は丸餅と言われ、三重県内にはその境界線が走る。だから県内でも地域によって入る餅が異なる。汁も一般的な澄まし汁と近畿圏の味噌味とが混在する。

おせち料理そのものよりも 「食べ方」のスタイルが面白い

面白いのは、「食べ方」の地域性。北海道では、「おせち」を大みそかに食べるという。年越しそばは食べないのか？と言え、満腹にもかかわらず、食べないわけにはいかない。

前述の三重県の中中部では、正月に牛肉を食べる。さすがブランド牛の本場。栃木県では、なぜか水ようかんが「おせち」に加わる。

おせちが語る日本の暮らし

お正月の朝、重箱のふたを開けると、黒豆や数の子、田作りなどが静かに並んでいます。どれも華やかではありませんが、「まめに過ごせますように」「子宝に恵まれますように」と、家族の無病息災や子孫繁栄を願う気持ちがそっと込められています。日本のおせちは、豪華なごちそうというより、暮らしを守ってきた祈りの形が始まりとあってよいでしょう。

そのルーツをたどると、古来、季節の節目に神さまに供えられた「御節供（おせちく）」に行き着きます。日本では節日に、旬の野菜や果物、さまざまな自然の恵みを神さまに供え、日々の安寧を祈ってきました。やがて一年の最も重要な節目であるお正月の料理を特に指して、“おせち”と呼ぶようになりました。

地域のおせちにも、その土地の暮らしが映ります。新潟の「塩引き鮭」、北陸の「かぶら寿し」、関西の「にらみ鯛」、東京の「コハダの栗づけ」、

食文化研究家

きよし あや
清 純 さん

大阪府生まれ。専門分野は食文化史、行事食、郷土食。一般社団法人和食文化国民会議幹事。農林水産省、文化庁、観光庁などの食文化関連事業の委員を務める。近著に『日本を味わう366日の旬のものの図鑑』がある。



写真提供：本人

九州の「がめ煮」など、海や畑の恵みがそのまま正月の味になりました。同じ“おせち”と呼んでも、地域によって料理や味つけが異なるのは、土地の暮らしの歴史がそこに宿っているからです。

暮らし方が多様になった今では、従来の重詰めおせちだけでなく、洋風おせちや冷凍おせちなども選ばれるようになりました。それでも、年の始めに家族と食卓を囲み、静かに手を合わせる習慣は変わりません。

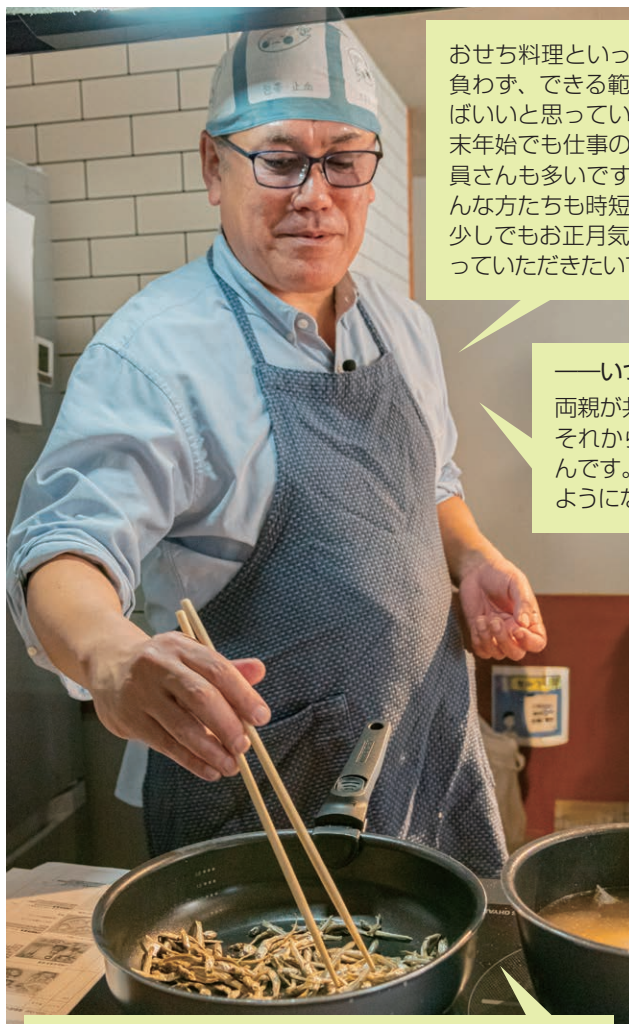
どんな形に姿を変えても、おせちが届けているのは、家族の無事を願う変わらない気持ちなのかもしれません。

奥深い「食のワンダーランド」を旅してみよう。

ザキヤマキッチン

おせちを創る、仲間とともに

おせち料理は手間暇がかかるイメージがあり家庭で作ることが少なくなりつつある。もっと気軽に作れるおせち料理があれば…。そこで、自他ともに認める料理好きの“ザキヤマさん”こと山崎幸治副委員長に、時短で簡単に作れるおせち料理を教えてもらった。



おせち料理といっても、気負わず、できる範囲で作ればいいと思っています。年末年始でも仕事のある組合員さんも多いですから。そんな方たちも時短おせちで少しでもお正月気分を味わっていただきたいですね。

——いつから料理を？

両親が共働きだったので、簡単なものは自分で作るようになりました。それから学生時代の飲食店のアルバイトで、コックさんが突然辞めたんです。労働問題で…。それでキッチンに入ってオムレツとかを作れるようになりました。よく料理するようになったのはここ5、6年です。

——ザキヤマさんにとって料理とは？

料理の段取りを考えると頭がスッキリします。仕事ばかりに追われないようにするリフレッシュの場でもありますね。料理以外でも、なんでもいいので仕事以外の別の居場所を持てるといいんじゃないかなと思います。



編集部の無茶ぶりに応えてくれた山崎副委員長は、忙しい日々でも時間を作って料理をし、お弁当も持参する。

料理に対する思いも交えながら、「豚の紅茶煮」「ブリの焼き浸し」「鶏団子」「田作り」「紅白なます」「たたきごぼう」の6品を、2時間で作り上げた。編集部の試食会でも大好評。ぜひチャレンジしてみたい。

《ブリの焼き浸し》

ブリの切り身 2切れ
塩 適量
[A] ぽん酢 適量
ゆずの皮 適量



- ①ブリを3cm幅に切り、塩をふって10分置いておく。
ゆずの皮は千切りにする。
- ②ブリから出た水分をキッチンペーパーでふく。
- ③フライパンを熱し、少量の油をひき、ブリを少し焼き目が付くまで中火で焼く。
- ④ボールに[A]を合わせておく。
- ⑤③の余分な油をキッチンペーパーでふき取り、④に入れる。

《豚の紅茶煮》

豚肩ロース（ブロック） 200g
紅茶（ティーバッグ） 2～3個
水（またはだし汁） 適量
[A] 醤油 大さじ4
酒 大さじ3
酢 大さじ3
みりん 大さじ3
砂糖 大さじ1



- ①鍋に豚肉・水（だし汁）・紅茶ティーバッグを入れ、中火にかける。水（だし汁）は豚肉がかぶるくらいにする。
※今回はゴボウと鶏団子のゆで汁をだし汁として活用。
- ②煮立ったら弱火にして40分ほど煮込み、取り出して厚さ1cm程度に切り分けて盛り付ける。
- ③[A]を鍋でひと煮立ちさせ、盛り付けた豚肉にかける。
②を③に漬け込んで冷ますとより味がしみる。

時短とは思えない出来栄え。
余った材料でお吸い物と卵焼きも作ってくれた。



ザキヤマキッチン動画配信中！

レシピの詳細も YouTube でご確認くださいませ。>>>

《未来を創る》自治体の仲間たち

『変わるって楽しい』 TRY & LEARN (挑戦と学び)で 組織を変えるDXを推進

下呂市の「CDO（最高デジタル責任者）補佐官」という肩書です。でも、エンジニアではなく事務職です。現在、総務省やデジタル庁からもDXに関連して委嘱を受けています。

入庁1年目から「組織を変えた」という思いを持っていました。

前例踏襲、失敗を恐れチャレンジしない風土。DXの推進はそれを変える力になるかもしれないと思い、手を挙げました。

今、生成AIを活用して会議のイノベーションに取り組んでいます。市民向けには、マイナンバーカード

を活用したデジタル郵便、GIGAスクール端末を用いた中学生との未来のまちづくりのワークショップ、家庭向け生成AI講座などに取り組んでいます。

DX推進は、小さく始めて成果を積み重ねることが大事です。成功すれば人間、欲が出ますから、「またやってみよう」となりますよね。誰かがやってくれるではなく、自分で変えようという文化を創りたいと思っています。国の補助金目あてで飛びついて、施策は民間に丸投げすると、上手く行きません。

ながお あすか
長尾 飛鳥さん

岐阜・下呂市職
下呂市役所
まちづくり推進部デジタル課

1987年下呂市生まれ。2009年入庁。健康課を皮切りに市民サービスの現場を経験。2022年からデジタル課。趣味はサウナ。「デジタルに触れない時間を大切にしています」



組合もデジタルを活用して運動を変えることが必要です。例えば『Slido』というサービスは、匿名で質問などをスマートフォンから投稿できます。今は質問の出ないセミナーが、これで活性化すると思いますね。

『公共』の力を感じる 「一から」のまちづくりは 大熊町ならではのやりがい

3.11のときは高校2年生でした。幸い、家族は無事でした。

民間の工務店に勤めていたころの現場が隣の富岡町にありました。車で向かうときに通る大熊町は、からっと晴れ、夏はひまわり、秋は紅葉



がきれいでした。職員募集を知り、こんな穏やかなところに住んで働くのもいいなと、応募しました。

2019年に原発事故の避難指示が一部解除され、住民帰還が始まりました。事故前の住民数は1万1,500人くらいでしたが、今の住民数は1,000人程度です。

ここでは、「一から」のまちづくりが行われています。解体前の家屋が目立ったJR大野駅周辺は次第に整備され、商業施設も完成し、人が行き交うようになりました。

きくち ちひろ
菊地 千尋さん

福島・大熊町職労
大熊町役場復興事業課都市計画係
建築技師

1993年郡山市生まれ。2022年入庁。趣味は建築家・藤森照信の設計した建築物を見る旅行。「ラコリーナ、モザイクタイルミュージアム。素敵でした」

多くの方の協力があって復興が進んでいます。そこに、とてもやりがいを感じています。

校舎を建てたとき、そこで学ぶことになる子どもたちが見学に来ました。そうしたら施工業者さんたちが「自分たちの建てる施設を、使う人が見に来るなんてないことだ」と涙ぐんでいるんです。印象的でした。

子どもたちも、自分の学校が建つところを見るなんてなかなか経験できないことです。モノ作りってすごいなと思いますし、これも『公共』だからこそなんだと思います。

地域での自治の仕事は、未来づくりそのものだ

2025年8月に開いた自治労大会のスローガンは「未来を創る、仲間とともに」。
地域の市民サービスの最前線で「未来を創る」仕事に励む4人の仲間の職場を訪れ
それぞれが仕事に懸ける思いを聞いてみた。

インフラの強さは 自治体の信頼の源 土木技術で地域の未来を創る

大学でダムや用水路などの治水について学び、土木技術が住民生活を守っていることを知りました。生まれ育った津市の、災害に強い街づくりに貢献したいと思い、市役所に入りました。



インフラ事業は、全国的には老朽化対策などの維持管理にシフトしていますが、津市は下水道の普及率が低く、新設を進めています。工事の説明で地域に出向くと、「下水道繋がるのを待っていたよ」と言ってもらえて、私たちの仕事が生民生活を支えていることを実感します。また、工事が完成する度に、下水道普及率として成果が見えるので、やりがいがあります。自分が設置したマンホールを見つけるとつい家族や友達に自慢しちゃいますね。

土木技師といっても大半はデスク

たきざわ ちえ
滝沢 千絵 さん

三重・津市水道労組
津市上下水道事業局下水道工務課
土木技師

1993年津市生まれ。32歳。2015年入庁。
趣味は学生時代から続けているチアリーディング。
「推しキャラはシナモロールです」

ワークなので、女性に向かない仕事とは思いません。入職した頃は安全靴などの女性用サイズがなかったり、女子更衣室に宿泊用ベッドがなかったりしましたが、女性の声を反映して環境が整ってきました。ただ、現場での受動喫煙の問題や、女性用トイレがないといった課題は今もあります。女性が安心して長く働ける環境にしていきたいです。

インフラの強さは自治体の信頼の源です。気づかれにくい努力も多いですが、地域の未来を創る仕事であることに誇りを持っています。

子どもは未来そのもの 成長と笑顔を守るため 現場の課題を発信しよう

私は一人っ子ですが、年の離れたいとこがいます。幼いときと遊んでいた時に、これを仕事にできたらずっと働き続けられるんじゃないかなと思い、保育士になりました。子どもって本当に純粹ですよ。他愛もないことでニコニコしてくれて、子どもと接しているとこちらも自然と元気になります。それがこの仕事の一番の魅力だと思います。

男性保育士はまだ少ないですが、保育の現場では力仕事も多いので、そこは私の強みだと思って率先してやります。外遊びも体力がいるので

たくさん体を動かして遊んでいます。保護者からも喜ばれています。

現在勤務しているのは「へき地保育所」で、14人の子どもを複式クラスで保育しています。私は4・5歳クラスを1人で担当し、ほかに職員は2・3歳クラス担任1人と所長だけです。配置基準は満たしていますが、職員3人だけで災害時などに対応できるのか、正直不安です。昨年、配置基準の見直しがありましたが、基準が実態に追いついただけ。まだ不十分というのが現場の感覚です。

全国の保育職場のなかまの皆さん

みずの まさき
水野 正樹 さん

北海道・本別町職
本別町立勇足へき地保育所
保育士

1984年浦幌町生まれ。41歳。2014年入職。
現在、自治労社会福祉評議会の全国幹事を担っている。
趣味は料理。「休みの日は家族にチャーハンを作ります」



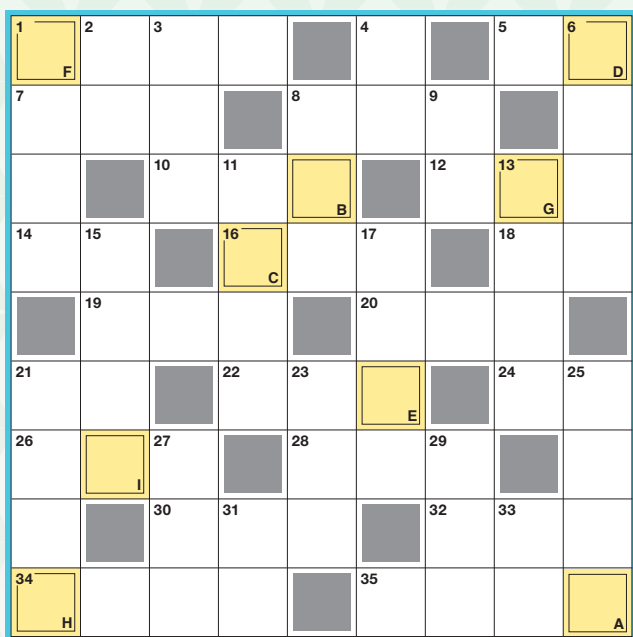
には、自治労の集会などに気軽に参加していただき、現場にしかわからないことをどんどん発信してほしいと思っています。それを取り組みのヒントにして、一緒に改善していきたいです。

備えを胸に、新たな一年を力強く駆け出そう

2026年は午（うま）年です。午は太陽が最も高く昇る正午を意味し、勢いと発展を象徴するといわれます。馬が大地を駆ける姿は、まっすぐ前へ進む力と、未来へ向かう強い意志を思わせます。私たちも、この一年を力強く歩んでいきたいものです。その一歩を確かなものにするのが、日々の備えです。自治労は、自主福祉運動の一環として共済事業を推進し、組合員と家族の生活を守り続けています。共済は、安心して行動できる力の源です。備えを胸に、希望に満ちた新たな一年を力強く駆け出しましょう。

2026年 お年玉クイズ

Crossword Puzzle クロスワードパズル



Question

の中に入る文字はなんでしょう？

*「ツ」「ヨ」などの小文字は大文字として扱います。

Answer

A B C D E F G H I

正解者の

中から

の方に以下の賞品を

プレゼント

賞品

特賞

Anker

ポータブル電源

Solix C1000 Portable Power Station 1人

1等賞

SHARP

加湿空気清浄機

3人

2等賞

ローリンク

折りたためるスーツケース4輪タイプ 7人

3等賞

リズム

防水ポータブルシアタースピーカー 10人

4等賞

プラスモア

3Dセラミックヒーター&ファン 16人

共済賞

タオル屋さんが愛するタオル
今治産タオルセット

83人

タテのカギ

- サイコロを振って出た目の数だけこまを進め、早く上がった人が勝ちになる遊び。
- 翼を持ち、体が羽毛で覆われた動物。
- 建物の軒下や、木の枝などから棒状に垂れ下がった水のこと。
- 川の水をせき止めて貯水する建造物。
- 「設計」や「意匠」を意味する言葉。
- 異常がないか調べること。
- 「視力○○○」「品質○○○」
- 自然の仕組みなどについて学ぶ教科。
- 空中の放電現象によって生じる光の筋。
- 動きが素早いこと、または軽やかであること。「○○○○な身のこなし」
- 宴会などの後に場所を移して開かれる2度目の集い。

- 身につけて持ち運ぶこと。
「○○○○電話」
- 情報を伝えたり、記録するための「媒体」。「マス○○○○」
- 印刷物や出版物の数を表す言葉。
「印刷○○○」「発行○○○」
- 相撲の試合をこう言います。
- 磁石の力で車体を浮かせて走行する○○○モーターカー。
- 「古池や○○○飛び込む水の音」
- 屋敷や寺、城などの入口にあるもの。
- 袋や箱などを閉じてふさぐこと。
「○○○をする」「○○○を切る」

ヨコのカギ

- 「停止」を英語で言うと……。
- 墨や絵の具などを含ませて字や絵を書く道具。
- 現存する最も大型の類人猿。
- 物を燃やすと出るもの。
- 英語で「線」「列」のこと。SNSでもおなじみ。
- 家庭で行われている収入・支出・貯蓄などの経済活動のこと。「○○○簿」
- 地方や故郷を表す言葉としても使われます。「お○○言葉」「お○○自慢」
- 思いやりの心。「○○○は人のためならず」
- 内側のこと。「アウト」の反対。
- アメリカのニューオリンズで生まれた、即興演奏を重視した音楽ジャンル。

- 15～16世紀に南米で栄えた○○○帝国。
- 機械装置全般を表す略語。「○○ニズム」「○○ニック」
- 眼球の前面を上下から覆う皮膚のこと。
- 繊維を細長くより合わせたもの。
- 出たり入ったりすること。
- 夏によく食べる大きな果物。果肉は赤や黄色が代表的です。
- 同じ農地で1年に2種類の作物を育てる。「○○○作」
- 着物など、日本の伝統的な衣装のこと。
- 東南アジア諸国連合の略称。
- 陸地に囲まれた、池や沼よりも大きな水域。

JICHIRO

応募方法

- 二次元コードから応募フォームへアクセスし、パズルの答えと必要事項を入力の上、ご応募ください。

URL: <https://jichiro-otoshidamaquiz.jp/>

- 当選者の発表は3月号(2396号)に掲載いたします。

※上記以外の応募は受け付けることができません。

当選された方は自治労の印刷物などの媒体で組合名・お名前・ご意見を紹介する場合があります。また、当落にかかわらず、ご意見を都道府県名・年齢・性別とともに、こくみん共済coop(全労済)自治労共済推進本部の印刷物などの媒体で紹介することができます。あらかじめご了承ください。



締切

1月31日(土)
17:00まで